



OB会 新春ご挨拶

コマツ大阪工場
工場長



谷川 徳彦

新年明けましておめでとうございます。

いつもOB会の皆様に多大なご支援をいただき、改めまして御礼申し上げます。

本年も何卒ご健勝で、変わらぬご支援ならびに現役社員への叱咤激励を頂けますよう、宜しく願い申し上げます。

大阪工場も創立72周年となり、今年も無事に新しい年を迎えることができたことを大変喜ばしく思っております。年頭にあたり、ご挨拶を申し上げます。

昨年は、5月に新型コロナウイルス感染症が2類から5類に移行し、いろいろな活動が再開・活発になった1年でした。秋には、4年ぶりに全く制限のない事業所フェアを開催し、多数のOBの方や地域住民の方にも参加していただき、大盛況のうちに終えることができました。今年も、さらに盛り上がる事業所フェアになる様にいろいろと企画していきたいと思っております。

さて、大阪工場の近況ですが、まず安全について、一昨年から急激に増えた災害に対し、各種対策を実施し、やっと効果が出てきましたので、昨年はある程度災害件数を抑えることができました。しかしながら、いまだ4件も発生している状況です。「自分の身を守る、仲間からけが人を出さない」を宣言し、引き続き全員参加で気がかりな作業や、状態、姿勢を撲滅し、ハード対策を先取りした対策を継続実施しています。また、多くの災害がルールを守っていないことが起因になっていることから、新たにルールアセスメントを取り入れ、社員が守りにくいルールをより安全に守りやすいルールに改定していくことで、さらに災害の発生しない現場環境作りを地道に推進していきます。

コマツの経営状況についてですが、2023年度の上期も、引き続き史上最高の売上、利益を更新いたしました。これもひとえにOB世代の皆様が築いてきた土台があり、それに加えて現役世代が頑張って達成できたと思っています。2024年度は、現在進行しているインフレーションによる資源価格の高止まりにより、マイニング市場はまだ仕事のある状況だとみっていますが、一方で世界的な金利の上昇も続いており、コンストラクション市場は、景気の減退が始まっており、先行きは非常に厳しいと予測しています。

我々コマツを取り巻く経営環境は刻一刻と変化していきますので、状況の変化に応じて、フレキシブルに対応できる体制を築き、現時点の結果に慢心せず、サステナブルに成長していきたいと思っております。

最後に昨年度からスタートした工場再編についてです。新聞にも発表があった通り、中型HE生産ラインを中心に動きを進めています。昨年、建機第5工場西を解体致しましたが、今年は、安全伝承館、品質道場、デモエリアのオープン、建機第4工場の解体、新板金工場の建設を予定しています。築80年を経過した工場は老朽化が著しく、引き続き建屋更新を進め、ダントツの生産性・競争力を備えたC/N（環境）・DX（IoT・自動化、顧客現場とのつながる化等）を目指した次世代工場を建設していきます。

さすがコマツと言われるような工場を社員一丸となって作りあげていきたいと思っております。皆様のご都合があれば、是非とも大阪工場に来工して頂き、状況など確認していただければ幸いです。

末筆になりましたが、皆様とご家族のご健康とご多幸を祈念いたしまして、新年のご挨拶に代えさせていただきます。

以上